

廃止措置研究に係る検討会の設置について

平成28年5月19日

四国電力株式会社

検討会の設置の経緯と目的

【経緯】

- 愛媛県は、伊方3号機の安全対策等に係る国への要請の中で、PWRプラントの廃炉実績がないことから、同型炉に広く適用できる廃炉研究を伊方発電所において展開するよう要望するとともに、過去においても国の脱原発依存のメッセージを受け、廃止措置等に係る県内企業の参画について期待感を示している。
- 原子力発電所の廃止措置は、現場技術が中心であることから、メーカーやゼネコンだけでなく地元企業も参入できる余地があり、また廃止措置期間が数十年間と長期にわたるため、必要な研究を行う時間的余裕もあるという特徴を有する。
- このため、伊方発電所における廃止措置研究については、国、地元関係機関に参画いただいた検討会を設置し、国、地元企業および地元大学と連携しながら、計画的に検討を進めていく。

【目的】

- 今後の伊方発電所の廃止措置に備え、PWRプラントの特徴を踏まえた既存の廃止措置技術に係る課題を抽出し、その課題を解決するために必要となる技術を整理するとともに、国、地元企業および地元大学等との連携の在り方について検討し、廃止措置への適用に向けた研究開発を行う。

検討会の構成

○ メンバー

当面は以下の構成で検討を行い、検討状況を見極めながら必要に応じて体制を拡充するなど見直しを行う。

- ・ 国（資源エネルギー庁）※1
- ・ 愛媛県（原子力安全対策課）※2
- ・ 愛媛県産業技術研究所 ※3
- ・ 愛媛大学（社会連携推進機構 産学連携推進センター）※4
- ・ 四国電力
- ・ 四国電力関係会社

○ 事務局

- ・ 四国電力

※1：課題の解決にあたり、廃止措置技術に関する知見、経験等を踏まえ、技術全般にわたって指導いただく。

※2：廃止措置技術の改善等にあたり、原子力発電所の安全性確保の観点から指導いただく。

※3：既存廃止措置技術の改善を図るための課題・ニーズ、中長期的課題に対して、関連技術を保有する地元企業等を紹介いただき、その技術の活用の可能性や産学官連携の在り方等について指導いただく。

※4：既存廃止措置技術の改善を図るための課題・ニーズに対して、同大学が保有する技術の活用の可能性や産学連携の在り方ならびに中長期課題に対する共同研究の可能性等について指導いただく。

検討会での実施内容

【実施内容】

- 廃止措置に係る既存技術の改善を図るための課題・ニーズに対して、地元企業、地元大学が保有する技術の活用とその高度化について研究開発を行う。
- 廃止措置工程全体を見据えたうえで、国内外の廃止措置に係る知見を調査して、中長期的に取り組んでいくべき課題を抽出するとともに、その解決の方向性を明らかにし、研究・技術開発の計画を固める。

【検討会開催計画(平成28年度)】

開催回	実施内容
第1回 (H28.5.19)	<ul style="list-style-type: none">・ 廃止措置の概要および現状技術整理・ 研究開発分野の選定・ 対応すべき課題の抽出
第2回 (H28.8 頃)	<ul style="list-style-type: none">・ 地元企業、地元大学が保有する技術とのマッチング・ 必要となる技術の調査・整理・ 課題の整理、課題解決に向けた方向性の明確化
第3回 (H28.11 頃)	<ul style="list-style-type: none">・ 研究開発計画の策定・承認
第4回 (H29.3 頃)	<ul style="list-style-type: none">・ 研究開発の実施状況確認・ 次年度計画の方向性・ 中長期的課題の確認

検討会の進め方イメージ

